

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアの実践が出来ていない。	各利用者の能力に合わせて、口腔ケアの実践を行う	各利用者毎に、口腔ケアに関しての能力を把握する。その上で、毎食後の口腔ケアを実践していく	3ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度について、理解が足りない	権利擁護に関する制度を学ぶ機会を設ける。対象となる利用者が出た場合は、スムーズに支援できるように、準備しておく	職員間で、権利擁護に関して学ぶ機会を設ける。ミーティングの議題とし、数回に分けて実施。	6ヶ月
3	2	地域とのつながりが感じられるような交流が希薄。	地域に施設の存在をアピールする。	自治会に加入を検討。地域の社会福祉協議会の会合へ参加。	12ヶ月
4	4	運営推進会議が定期的開催出来ていない。	定期的開催できるように努める。	年間スケジュールをたて、計画通りに開催していく	3ヶ月
5	26	介護計画をたてるにあたり、評価を具体的な方法で記載していない	定期的モニタリング、アセスメントした結果を分かりやすい帳票でまとめる	ケアマネージャーが介護計画作成システムを活用し、利用者毎のモニタリング、アセスメントを整理し、計画作成時に活用できる体制を整える。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。